

うれしの

市議会だより

No.65

令和4年4月26日発行

- ◎市議会が新たに P2~3
- ◎令和4年度予算決定 P4~5
- ◎どうなった災害復旧 P6~7
- ◎議案を審議 P8~13
- ◎議員発議で意見書 P14
- ◎市政を問う一般質問 P15~25
- ◎委員会紹介・人事 P26~27
- ◎ときの人 P28

市議会!

臨時会

臨時会



森田 明彦 副議長

69 歳



辻 浩一 議長

62 歳

議長・副議長選挙を実施

令和4年1月23日におこなわれた市議会議員選挙において、現職12名、新人4名による新たな議会が誕生しました。
それに伴い、2月7日に開催された臨時会で議長・副議長及び各常任委員会と議会運営委員会の委員構成が決まり、新しい嬉野市議会が動き出しました。



山口 卓也



辻 浩一



宮崎 良平



水山 洋輔



梶原 睦也



諸上 栄大

総務企画常任委員会

総務・防災課、財政課、税務課、企画政策課、広報・広聴課、文化・スポーツ振興課、SAGA2024推進課、会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会、議会事務局を担当します。

委員長	宮崎 良平
副委員長	諸上 栄大
委員	辻 浩一
"	梶原 睦也
"	山口 卓也
"	水山 洋輔

動き出す



古川 英子



田中 政司



諸井 義人



阿部 愛子



増田 朝子



大串 友則



芦塚 典子



川内 聖二



森田 明彦



山口虎太郎

文教福祉常任委員会
 市民課、健康づく
 り課、福祉課、子育
 て未来課、教育総務
 課、学校教育課を担
 当します。
 委員長 諸井義人
 副委員長 増田朝子
 委員 田中政司
 阿部愛子
 古川英子

産業建設常任委員会
 農業政策課、茶業振
 興課、観光商工課、建
 設課、農林整備課、新
 幹線・まちづくり課、
 環境下水道課、農業委
 員会事務局を担当しま
 す。
 委員長 川内聖二
 副委員長 山口虎太郎
 委員 芦塚典子
 森田明彦
 大串友則

議会運営委員会
 議会の諮問に関わ
 る事や議会運営につ
 いて担当します。

委員長 芦塚典子
 副委員長 梶原睦也
 委員 増田朝子
 川内聖二
 宮崎良平
 諸井義人

7,345万円

今回、骨格予算と肉付けまで!!

第1回定例会

令和4年第1回定例会は、3月1日に招集され、3月18日まで18日間の日程で開催しました。

今議会では、2月の市長の改選を受け令和4年度の当初予算は骨格予算で提案され、会期中に肉付けの補正予算が提出されました。

議案は、令和3年度の補正予算8件、令和4年度の当初予算5件、令和4年度の補正予算1件、条例の制定・改正等5件、副市長の選任など人事の議案3件、意見書の提出や委員会の設置など議員発議4件、諮問2件の全部で28件が提案されました。

慎重な審議の結果いずれの議案も可決、承認しました。
(賛否表は14P)

本年度の当初予算は、追加提案された補正予算(1号)を合わせると、昨年度当初予算より0.8%減、金額で1億5455万円減の184億7345万円が計上されました。

歳入

歳入では、コロナの影響を受け市税が減収すると見込んでいた令和3年度の実績をふまえ、前年度当初より6.7%増の24億8114万円、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金が国の政策で廃目となり

地方特例交付金が79・2%減の1200万円、また市が発行する市債が大型事業の減少などで、54・5%減の4億7150万円などとなっていました。

歳入全体では、自主財源(市税や使用料、手数料など)が前年度より15%増の87億9286万円

で収入全体に占める割合が47・6%と前年度より1.1ポイント改善されています。

しかし自主財源のうち、ふるさと応援寄附金・同繰入金が約47億円で自主財源全体の53・4%を占めており、厳しい財政状況の中、改めてこの制度の有り難さが浮き彫りとなっています。

歳出

歳出については、人件費などの義務的経費が全体の39・6%で73億995万円、農林、観光、建設などの補助事業や単独事業などの投資的経費が6.9%で12億6583万円、物件費や繰出金などのその他の経費が53・6%の98億9766万円となっています。

科目別では18歳までの医療費助成や生活保護扶助費などの民生費が歳出全体の31・7%で58億6

030万円、新幹線開業に伴うステイネーションキャンペーン事業などの商工費が2.9%で5億3954万円、嬉野温泉駅周辺整備事業や道路メンテナンス事業などの土木費が8.5%で15億5972万円、ハウス団地基盤整備事業や、さが園芸生産888億円推進事業などの農林水産業費が4.9%で9億179万円となっています。

借金と貯金

今年度の市債(市の借金)返済のための公債費には14億225万円が計上されており、令和4年度末には、令和3年度末の見込額より8億8842万円程度減の100億

3月定例会

令和4年度は
一般会計(補正後予算)
前年比0.8%減

184億

会計名		3年度 当初予算	4年度 当初予算	増減率	
一般会計(補正後予算)		186億2,800万円	184億7,345万円	0.8%減	
特別会計	国民健康保険	35億3,426万円	35億7,378万円	1.1%増	
	後期高齢者医療	3億8,206万円	3億9,965万円	4.6%増	
	嬉野温泉駅周辺 土地区画整理事業	3億125万円	2億1,965万円	27.1%減	
	農業集落排水	3億9,663万円	—	100.0%減	
	公共下水道	5億2,721万円	—	100.0%減	
	浄化槽	1億8,917万円	—	100.0%減	
	第七土地区画 整理事業	490万円	—	100.0%減	
	第八土地区画 整理事業	823万円	—	100.0%減	
企業会計	下水道事業	収益的収入	—	7億7,758万円	皆増
		収益的支出	—	7億7,758万円	皆増
		資本的収入	—	※4億1,171万円	皆増
		資本的支出	—	5億9,147万円	皆増

※企業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、当年度分損益勘定留保資金で補填するものとする

8433万円の残高になると見込まれています。
また、基金(市の貯金)については、令和3年度末で99億8852万円と見込まれており、厳しい財政運営の中、災害などの緊急な支出に対応するためにも、基金の取り崩しをなるべく抑えた市政運営が求められます。

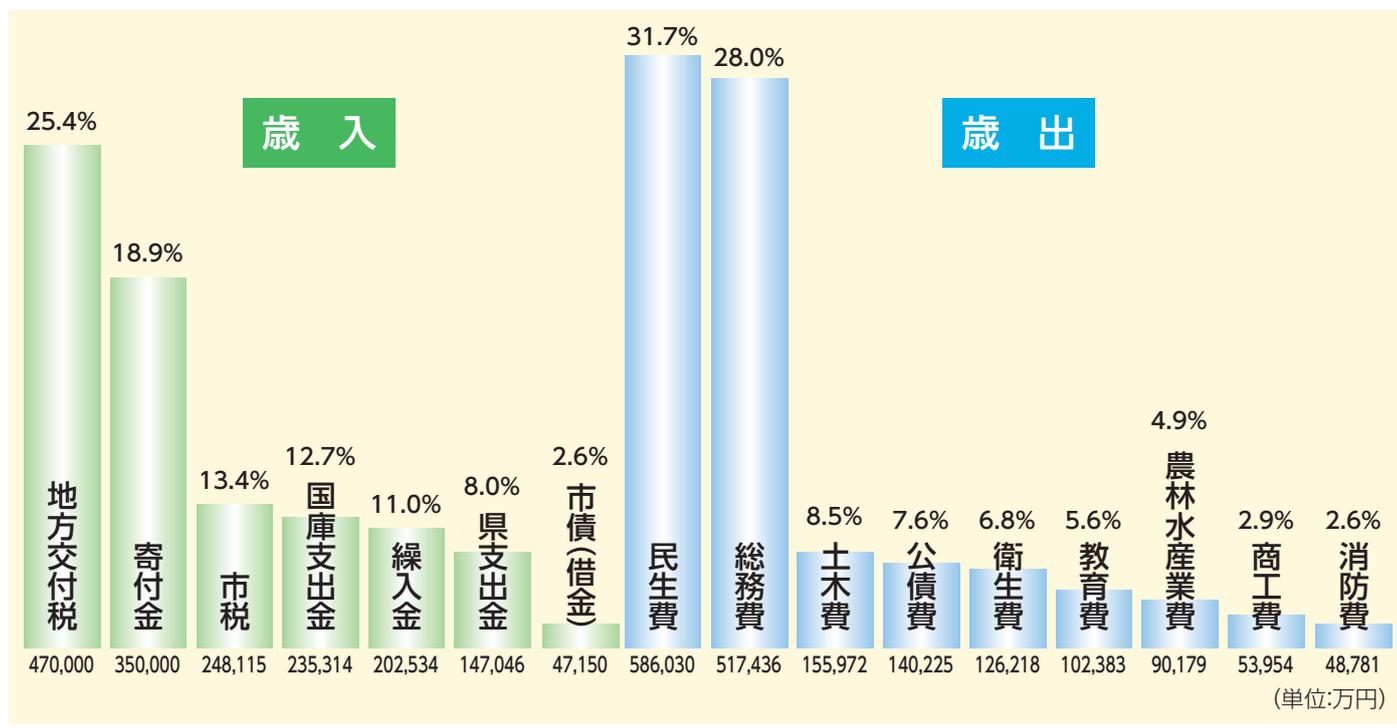
市民一人当たり金額

人口 25,265人 (3年2月末)

民生費 231,953円	商工費 21,355円
土木費 61,734円	
公債費 55,502円	
教育費 40,524円	
農林水産業費 35,693円	

1人当たりの歳出総額
731,187円

市税負担(1人当たりの人口割) **98,205円**



災害復旧!!

令和3年8月に発生した大雨による災害については、令和3年度の補正予算で対応がなされましたが、国の査定が12月からということもあり、今回の定例会においては、災害復旧費の総額8億3987万円が令和4年度に繰り越されました。

一日も早い復旧が望まれますが、余りにも多い災害箇所のため、全ての復旧が完了するのは令和5年度までになる予定です。

市道・普通河川

市が管理する市道や普通河川については、災害箇所が全部で52カ所、その内22カ所が補助事業費対応で、30カ所が市の単独費での対応となっております。

金額は補助事業が4億9050万円、単独事業が5900万円となっております。令和3年度予算の5億5197万円が令和4年度へ繰越明許として計上されました。

復旧工事については、市道・普通河川の中でも重要な路線を優先的に、本年4月から本格的に始まり、令和4年度内には全ての箇所の復旧が終了する予定です。

市道に関しては市民の安心、安全の重要な交通インフラであり、一刻も早い復旧が望まれます。

農地・農業用施設

農地や農業用施設（水路・農道）については、市内において200カ所以上の被災報告を受け、農地70カ所、農業用施設55カ所の合計125カ所が国の査定を受けました。

金額としては、査定額として総額4億5146万円が予定されています。今後の復旧工事としては、水路や農道など農作物の維持管理の上で重要な箇所を優先的に進める計画で、令和4年度に76カ所、残り49カ所を令和5年度に発注する計画となっております。

農地災害においては、復旧までの期間が長引けば、農家の営農意欲が衰退することや、これからの大雨などにより被害がさらに拡大することも予想され、一刻も早い復旧

が望まれます。しかし現状では、発注を受ける事業者において、工事の量に対する労働力不足などの要因で受注できないことも考えられ、このような災害時における復旧工事については、一刻も早く復旧するための新たな発注システムの研究も必要であると思われれます。

林道関係

林道災害については、林道が10路線17カ所、県単林道が作業道1路線1カ所、農林地崩壊防止事業が2地区2カ所となっており、予算額が1億1339万円計上され発注されています。

地すべり (下吉田地区)

令和2年の災害で通行止めとなっている市道永尾線については、令和3年度で、地すべり調査観測測量設計業務が全て終了する予定でしたが、令和3年8月の大雨で再度地すべりの兆候が見られたため、設計業務の1200万円が令和4年度に継続補正されました。今後は設計業務が夏頃を終了し、国の査定を受け本年度中には工事の発

湯野田木場地区

注がおこなわれる予定です。工事の期間は工法などにもよりますが1年以上かかるものとみられており、地域の方や利用者には今しばらくご不便をおかけすることになります。

市道木場内野山線については、令和3年度予算で6220万円の予算が計上され、令和4年度に繰越明許されました。今後の予定は雨期前に



▲早い復旧が望まれる市道

どうなった



▲今後の大雨が心配

(大舟・南下地区)

この2地区については、それぞれ県道が通っている。これまでの地すべり対策の事例では状況の解析にしばらくの時間を要するものと考えられます。議会としては、住民の不安解消と安全確保のため、早急に対策をおこなうよう求めていきます。

現在、両地区内のボーリング掘削が終了し、水位計やひずみ計などの調査機器が設置され、その結果で状況の解析がおこなわれ、工法の設計業務となります。これまでの地すべり対策の事例では状況の解析にしばらくの時間を要するものと考えられます。議会としては、住民の不安解消と安全確保のため、早急に対策をおこなうよう求めていきます。

第1回
臨時会
2月7日

令和3年度補正予算

令和4年の第1回臨時会は、市議会議員の改選を受け、議会の体制を整備するために2月7日に1日間の日程で開催されました。議長・副議長の選挙をおこない、議長に辻浩一氏、副議長に森田明彦氏を選任しました。(議会役職の詳細はP2、P3で紹介) また、昨年12月に新型コロナウイルス感染症対策として専決処分された3件の令和3年度一般会計補正予算と人事案件1件の4議案も提出され、いずれの議案も承認または同意されました。

今回の補正は事業費や人件費の確定、国の補正予算に絡む補助事業費の確定などにより、一般会計と特別会計を合わせ8議案が提案されました。一般会計においては、歳入・歳出合わせ3億2514万円が増額され、総額225億2210万円の予算規模となりました。

市が今回事務局となっている農業振興費の産地生産基金、パワーアップ事業に9億870万円が増額補正された他、積立金として減債基金に1億円、公共施設建設基金に3億3964万円が積み増しされることとなります。今回の補正では、コロナウイルス感染症や大雨による災害、国の補正予算確定などの影響により、令和4年度への繰越明許費が民生費や農林水産業費、土木費、災害復旧費など多岐にわたり総額で29億3826万円と大きな額となっています。議会では、執行部に対し確実で的確な予算執行へ向けての努力を求めることとなります。

また減額の大きなものは財政調整基金の繰入金4億4391万円の減、市債の発行が3億1633万円の減などとなっています。歳出については、事業費の確定による減額補正がほとんどですが、嬉野

その他の特別会計の補正予算については、事業費の確定による補正が主な内容となっています。

今後の管理運営に期待 道の駅等の設置及び管理に関する条例

この条例は、現在建設中である道の駅等の設置及び管理に関し必要な事項を定めた条例です。
道の駅は、国が設置する休憩・情報発信施設と連携し、道路利用者に対し良好な休憩の場、道路

交通情報等を提供します。それとともに、観光などの地域情報の発信により市民と来訪者との交流を促進し、地域の振興および活性化を図ります。嬉野温泉駅利用者への利便性の向上のためにも、



▲新たな交流拠点として

- 駅周辺施設の利用内容や、料金なども踏まえた条例の内容となっております。
議会として、管理運営団体の適正な選定や、その後の運営状況を見守り、来訪者に喜んでいただくような道の駅等施設になることを期待しています。
- 問** 名称の「うれしのまるく」とはどのようにして決めたのか。
答 官民連携会議において決定した。
- 問** 今後の管理・運営に関してはどうのように考えているのか。
答 指定管理委託にて対応を行う。
- 問** 新幹線開業が9月23日と決定しているが、他の駅周辺の施設もすべて同時に開業するのか。
答 民間企業との連携施設の整備箇所においては遅れる。

車販売業者の負担軽減

～嬉野市税条例の一部を改正する条例～

この条例の一部改正は、展示車両等の軽自動車税を、免除するものです。この事案については、昨年6月の定例会において「商品軽自動車に対する軽自動車税課税免除に関する要望書」を受けており、市としても各市町の

この条例の一部改正は、展示車両等の軽自動車税を、免除するものです。この事案については、昨年6月の定例会において「商品軽自動車に対する軽自動車税課税免除に関する要望書」を受けており、市としても各市町の

み検討した結果、今回の条例改正へと至りました。商品および、展示車両の軽自動車税の免除は、全国的にも多数の自治体で実施されており、県内のいくつかの市町においても、課税免税が実施されています。

問 対象となる商品軽自動車とは何か。
答 中古自動車販売業者名義で届出されている商

問 品軽自動車（展示車両）であり、代車などにおいても使用しない軽自動車である。
問 免税率はどれくらいか。
答 100%である。
問 今回の条例の一部改正により、いつから課税免除になるのか。
答 令和4年度から適用である。



▲公平化をはかるため

施設園芸の核づくり

～産地生産基盤パワーアップ事業 9億870万円～

この事業は、産地の高収益化に向けた取り組みや、園芸作物等の生産基盤の強化を図るための取り組みを国の要綱に基づいて実施する事業に要する費用を補助し、生産基盤の強化を総合的に支援する事業です。

令和3年度において、

園芸団地への入植者を含む農業者の組織する団体がおこなう低コスト耐久性ハウスの整備に係る費用の一部として助成する額を予算化しました。

追加補正額の内訳としては、きゅうり低コスト耐候性ハウス6億4605万円、トマト低コスト耐候性ハウス1億4065万円、育苗ハウス1億2200万円の3件分と



▲整備が進むハウス団地

なりません。

園芸団地の全体計画は8区画であり、収益力強化に計画的に取り組み、杵藤地区の拠点整備を担い、強化・継続の望まれる事業であり、嬉野市が同事業の杵藤地区管内の事務局となっております。

問 ハウスの新設場所はどこか。

答 塩田町宮ノ元のハウ入団地と石垣地区である。

不登校解消につなげよ 不登校対応コーディネーター配置事業 253万円

コロナ禍の中、全国的に急増している不登校の解消に向けた学校への支援や未然防止、関係機関との連携を図り支援をおこなうものです。

助言をおこなうことにより、児童生徒の状況改善、保護者の心の安定、教職員の負担軽減につながる

ことが大いに期待できます。

県内では、嬉野市が初

答 教員資格および経験者になる。

問 コーディネーターの資格は。

めて不登校対応コーディネーター配置事業を実施します。

不登校対応コーディネーターは、教育委員会を拠点にして、嬉野市全体の対応にあたります。学校の支援員との連携により、教室復帰のサポートをおこないます。また、定期的に教育相談部会を開き、不登校児童生徒の対応を検討します。そして、ケース会議での指導、



▲コーディネーターとの連携に期待

災害時の情報一元化

～災害ネットシステム導入 236万円～

当初予算の追加補正として、災害情報システム導入費236万円が予算化されました。

このシステムは、インターネットアプリを使用した災害情報システムで、避難所の情報や被災箇所の情報を入力することで一元的に管理ができるこ

と、膨大な情報の共有化を図ることができます。さらに、災害情報の取りまとめや、発生後の災害などの対応状況の振り返りがおこなえます。また、資料作成なども容易にできるシステムです。

市長が掲げる政策の「守る」という観点や、防災DXの一環として導入されるシステムです。

今後はこのシステムの有効活用をさらに図ることにより、発生した災害



▲スムーズな災害対応のために

一つ一つの振り返りをおこなうことで、災害対策にしっかりと取り組まれることを議会として強く望みます。

問 災害が発生した際に、適宜入力される災害状況を市民は閲覧できるか。

答 できない。市民に対してはこのシステムで集約された情報内容をもとに、別に情報発信をおこなう。

この事業は、現在解体された公会堂の敷地内にある戦没者慰霊塔を解体し、新たに建設をおこなう事業で、その経費として1800万円が予算化されました。

現在の戦没者慰霊塔は、昭和36年10月25日に、嬉野町が工事総額141万円をかけて建設されたものです。

嬉野町出身の戦没者等を慰霊するこの塔の中には、日清戦争八柱、日露戦争二五柱、日独戦争一柱、支那事変四一柱、大東亜戦争七九三柱、満州開拓団死没者二〇柱、合計八八八柱の御霊が安置されています。

戦争の悲惨さと戦没者等の尊い命の上に築かれた今日の平和の重みを未永く後世に伝え、御霊を慰めるために建てられ、「英霊の御霊安らかに」

平和を願い

戦没者慰霊塔建設事業 1800万円



▲平和の尊さを後世に

と刻まれた石碑もこの慰霊塔の横に建てられています。

新たに嬉野市の中央広場に建てられ、鎮魂碑が新しくなりますが、嬉野でも大勢の方が戦争で亡くなられていることを決

して忘れてはなりません。

問 工期はいつごろか。

答 5月上旬から9月末までを予定している。

問 新設場所は中央広場のどのあたりか。

答 北東あたりに建立する。

呼び込めるか観光客

「ステイネーション」キャンペーン事業 2109万円



▲積極的な売りこみを

西九州新幹線（武雄温泉駅―長崎駅）の開業が令和4年9月23日に決定しました。それに伴い、豊かな自然や多様な食などの様々な魅力で、全国から来訪者を迎える国内最大規模となる観光キャンペーン「佐賀・長崎デ

ステイネーションキャンペーン」が今年の10月から12月末まで開催されます。それに先駆け嬉野市では、集客エリアの拡大に向け、関西都市圏を中心に観光PRや広報活動を重点的におこなう事業費

として2109万円が予算化されました。「嬉野温泉駅」の開業にあわせ周知を図り、市内への観光客の増加を目指すことと、新幹線駅のある市町や近隣自治体と、JR九州との連携を強固にすることも目的に取り組まれます。

新駅の開業までに積極的にPR活動をおこなうことはもとより、議会としては、新駅開業後も様々な媒体を活用したPR活動を継続的におこなうことで、積極的な観光客の集客に努めることを期待します。

問 どのようなキャンペーンやPR・広報活動を考えているのか。

答 JR大阪駅での観光イベントや、JR西日本とのタイアップ事業、大阪市内での情報交換会、関西都市圏で情報発信をおこなう。

開業効果を市民一丸で

～受入態勢整備事業 500万円～

この事業は、西九州新幹線嬉野温泉駅開業を目前に、本市の観光資源を磨き上げ、受入態勢を整えるとともに、開業に向けた市民の機運醸成を図る事業です。

内容としては、事業者や各団体が自ら創意工夫を持って取り組む事業に

対して支援をおこなうとともに、セミナーを開催することにより、関係者のおもてなしの向上と機運醸成に努めます。

問 市民のおもてなしの向上はどのように周知するのか。

答 嬉野版おもてなしハンドブックを作成予定である。

問 創意工夫を持って取り組む事業とはどのような

な取り組みか。

答 令和3年度に実施された「チャレンジ補助事業」や「サポート事業」などを活用された市内の事業者等の取り組み内容を参考に、市内全域の経済の活性化や新しい取り組みにさらに磨きをかけた事業をイメージしている。そのような新たな取り組みを支援することで気運の醸成を図りたい。



▲「おもてなし」に磨きをかけよ

ちよットの間に有効に 就業対策支援事業 800万円

この事業は、市内事業所の人手不足の解消と、市民の所得向上が図られることで、心の豊かさの醸成や、女性の就業率の改善を目指すことを目的として、昨年度から実施されている事業です。

事業内容として、嬉野

市と武雄市が合同で、休業や失業等で求職する状況となった方や、ダブルワークを希望する方、また、介護や育児の合間に働きたい方（労働者）と、短期間また、短時間に働き手がほしいあらゆる事業者（雇用者）とのマッチングをおこなう事業です。雇用者には働き手の確保により生産性アップを、労働者には隙間時間を活用した収入アップが図れることと、最終的には正規雇用につながることも目的とされています。

当市においても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、あらゆる事業所において、繁忙期と閑散時期が急速に入れかわるなど雇用形態に関して不安定な状況となっている現状を緩和する事業と考えます。



▲隙間時間を活用して

答 2月末現在で、武雄市嬉野市合わせて希望者が192人、事業者が73事業所の応募あり、111件のマッチング成立があった。

うれしカードを有効活用

～地域産業活性化事業 503万円～

令和3年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、落ち込んだ市内経済の活性化と市民の生活支援対策として「うれしカードキャンペーン」が実施されました。今年度においては、「うれしカード」をさらに利用することで、市内の経済活性化と事業者への

の労働力の確保をはかり、市内の地域全体の産業の活性化を目指すために503万円が予算化されました。

問 事業内容は、市内事業者への新規就労者に対し「うれしカード」のポイントを一人あたり5000円分付与することにより、市内店舗での購買意欲の喚起と消費額の向上、そして、経済循環の促進に努める内容となっています。

答 取得要件はなにか。雇用形態は正規雇用、パート雇用などは不問だが一定期間雇用されることとが条件となる。

問 新規就労者は嬉野市在住者のみか。

答 嬉野市在住は問わない。

問 「うれしカード」が使用できるのは、何店舗か。

答 市内に72店舗である。

問 市内で何名位の新規就労者を想定しているのか。

答 市内の470事業所に平均2名の新規就労者を想定している。



▲市内経済の活性化を目指して

交通弱者を助けるために

～塩田地区デマンド交通実証運行事業 200万円～

現在、廃止代替バス路線として上久間線、下吉田線、三間坂線、牛の岳線の4路線があり、乗り合いタクシーとして大野原線と春日線の2路線が運行しています。

その中でも上久間線の利用低迷を受け、周辺の公共交通空白地域への対応も念頭に、塩田地区全



▲利用者の利便性のために

体を対象としたデマンド交通の検討・実証をおこなう事業として200万円が予算化されました。

他市町のデマンド交通の取り組み状況を見ると、タクシーやバスよりも複雑な運行や、毎回違うルートによる走行距離のばらつきなどが著明であり、その管理などにおいて非常に複雑であるとうかがいます。

そのために嬉野市では、需要に合わせた運行形態への見直しと、公共交通の網羅性向上をはかるために実証運行をおこない

ます。

問 いつ頃実証をおこなうのか。

答 関係地域との協議をまずおこなうため、具体的な時期は確定していない。実証運行期間は1カ月程度である。

問 デマンド交通とはどのようなものか。

答 路線バスなどのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に入れた指定された場所へ送迎する交通サービスである。

昔の姿をそのままに 22世紀に残す佐賀県遺産 1000万円

佐賀県では、美しい景観を呈する地区又は地域を象徴する建造物で貴重な資産であるものを、22世紀までも残していくべきものとして「佐賀県遺産」に認定し、その保存活用を支援しています。

令和4年2月に「志田陶磁器株式会社」の建造物が佐賀県遺産として認定されました。明治時代に建てられた事務所や蔵は頑丈な松材の梁に支えられ、当時の繁栄ぶりを物語るものです。

佐賀県の美しい景観条例第8条の規定に基づき、県民の郷土に対する誇りや愛着を育み活力ある佐賀県の創造のため保存活用の推進を図ることになりました。

建造物の文化的価値、または外観の保存のために修理を要する費用の補

助金を県と市で2分の1ずつの1000万円を上限として補助することになりました。

今後も永く嬉野市に存する佐賀県遺産として愛

問 されることを期待します。修理費が限度額を超える場合は自己負担になるのか。

答 自己負担となる。



▲佐賀県遺産に認定された志田の蔵

一刻も早い平和的解決を 議員発議で意見書

今回、発議第3号として、議会から意見書を提出。
2月24日からロシアのウクライナ侵略を強く非難するとともに、日本政府に対し一刻も早い平和的解決に向け、国際社会と緊密に連携をとり、全力を尽くすことを要請するために意見書を提出しました。

ロシアのウクライナ侵略を強く非難し、政府に対し、平和的な解決に向け毅然とした対応を求める意見書

去る2月24日、ロシアは、ウクライナへ武力攻撃、侵略を開始した。

今回の行動は、ウクライナの主権を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の違反であり、国連憲章に反するものである。この事態は、法の支配に基づく国際秩序に対する挑戦であり、その根幹を揺るがしかねない暴挙である。どのような国連問題においても、武力行使による解決は断じて認められず、強く非難せざるを得ない。

また、ロシアは、核戦力の使用さえも辞さないと示唆しており、このことはウクライナだけでなく、全世界の脅威であり断じて容認できない。

「非核平和都市宣言」を掲げる嬉野市の議会としては、一刻も早くウクライナの国土が保全され、ウクライナ国民に平穏な日常が取り戻されることを願うものである。

日本政府におかれては、国際社会と緊密に連携をとり、あらゆる平和的な手段を講じ、ロシア軍の即時攻撃停止及び部隊の撤退を実現させ、今後、このような武力侵襲が国際社会でおこらないよう、全力を尽くされることを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月9日
佐賀県嬉野市議会

○は賛成 ●は反対

議長は採決に加わりません

令和4年3月定例会議案賛否表 (主なもの)

議案番号	議案名	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					水山洋輔	大串友則	古川英子	阿部愛子	山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	芦塚典子	田中政司	梶原睦也
議案第5号	嬉野市道の駅等の設置及び管理に関する条例について	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	嬉野市税条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和3年度嬉野市一般会計補正予算(第15号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和4年度嬉野市一般会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和4年度嬉野市国民健康保険特別会計予算	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和4年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和4年度嬉野市下水道事業会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和4年度嬉野市一般会計補正予算(第1号)	可決	14:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	嬉野市監査委員の選任について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	嬉野市副市長の選任について	同意	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情

発議

討論

母 毛嘉萍(モウカヘイ)が中国で

不法に逮捕されている件に関する要望

東京都台東区浅草

付偉彤(フイトウ)

嬉野温泉駅周辺整備に係る

地元造園業者への配慮についての要望

嬉野市嬉野町大字下宿

嬉野造園組合
組合長 永尾和義

発議第1号

議会活性化特別委員会の設置及び付託について

理由 議会の活性化を図るための調査研究を行う。

発議第2号

議会広報編集特別委員会の設置及び付託について

理由 議会広報の編集発行に係る調査研究を行う。

発議第4号

市庁舎検討特別委員会の設置及び付託について

理由 市庁舎のあり方に関する調査研究を行う。

今回、2名の議員から議案に対し討論がありました。

議案第5号

嬉野市道の駅等の設置及び

管理に関する条例について

反対討論が阿部愛子議員

賛成討論が諸上栄大議員

議案第20号

令和4年度嬉野市後

期高齢者医療特別会

計予算

反対討論が阿部愛子議員

議案第19号

令和4年度嬉野市国民

健康保険特別会計予算

反対討論が阿部愛子議員

議案第23号

令和4年度嬉野市一般

会計補正予(第1号)

反対討論が阿部愛子議員

次ページは
一般質問

新人含む全議員が

市政を問う

3月議会

15議員が質問

諸上 栄大 議員 (P16)

森田 明彦 議員 (P16)

諸井 義人 議員 (P17)

川内 聖二 議員 (P18)

芦塚 典子 議員 (P18)

山口 虎太郎 議員 (P19)

山口 卓也 議員 (P20)

水山 洋輔 議員 (P20)

古川 英子 議員 (P21)

増田 朝子 議員 (P22)

大串 友則 議員 (P22)

田中 政司 議員 (P23)

阿部 愛子 議員 (P24)

梶原 睦也 議員 (P24)

宮崎 良平 議員 (P25)



1 期4年の市政の振り返りは

諸上栄大議員

答 市民の命と向き合う4年間であった

諸上 4年間の実績を踏まえ、新たに「守る」「輝く」「変わる」という3本柱を政策モットーとされているが、具体的に「守る」とはどのような施策展開を考えているか。

市長 4年間連続して大雨特別警報が出て、昨年8月の豪雨災害での大規模な被災を教訓に、災害対策のハード面はもとより、避難指示の在り方に対して、もう1歩進んだ取り組みと、いろいろな情報技術を活用した防災DXという観点を最優先事項におこないたい。

諸上 防災DXという取り組みをどのようにおこなうか。

市長 まずは、災害情報システムの構築に努めたい。

諸上 避難所空白地ゼロとは何か。また、どのように取り組むのか。

市長 避難所に歩いていけない遠い地域をさす言葉として自分が考えた言葉であり、そのような地域を早期に解消していく必要がある。既存の公施設や、自治公民館を活用するなど、小規模でありながらも避難所を設けたいと考える。避難所が徒歩圏内にある状況をつくりたい。

諸上 いわゆる「逃げる」ことに重点をおいての施策展開と考えるが、移送手段などが無い高齢者などの避難に関しては、どのように考えているのか。

市長 共助の枠組みをつくることで、危険を感じたら避難する仕組みをつくり上げていく。

諸上 「人口流出を守る」と公約に掲げているが具体的な施策は何か。

市長 移住・定住をしっかり呼び込むのが基本

市長 避難所である。多種多様な移住奨励の支援金を設けているのでしっかりとPRしていきたい。

諸上 新幹線開業に伴い、長崎県が通勤・通学が可能となると思うが、

新たな支援策はあるか。

市長 新幹線通勤については、早急に新幹線の利用見込みなどを積算したうえで、予算化したいと考える。



▲政策の実現に努めよ

公園トイレにオムツ交換台の設置を

森田明彦 議員

答 バランスを考え今後予算化していきたい



森田 子育て中の複数の市民より、遊具の新設はありがたい。また、管理も行き届いているが公園でゆっくり遊べるようにオムツ交換台を設置して欲しいとの声がある。

市長 所信表明の一端として、トイレ改修や熱

中症対策等、公園の外遊び環境の充実を図っていくことも話している。全体的なバランスも考え、今後、順次予算化していきたいと考える。

2期目に対する市長の所感について

森田 再選された市長の所感についてうかがう。

市長 自然災害への対応やコロナ禍からの地域経済の立て直し、それから子育て支援の充実、次世代の人づくり支援事業DX改革など、挑戦と、次世代への責任というものを胸に取り組んできた1期4年の政策に一定の評価をいただいた結果だと考えている。

森田 多くの課題がある中、最優先で取り組む課題は何か。

市長 本当は全てと申し上げたいが、やはり昨年8月の豪雨災害の復旧復興を急ぐということ。また、その教訓を踏まえた減災対策であると考えている。人工知能、AIの活用で災害時に市民の避難行動につながる情報

←

市

道本通り線の 改修計画は

川内聖一議員

答 調整を進めている



川内

耐久性、耐用年数を重視しての整備を。

建設部長 それ以外に

景観等も含めて検討する

川内 市街地には、インターロッキングブロックの市道が多くあるが、

段差が生じて危険な箇所が見られる。

建設課長 異常箇所の連絡があれば、即時に対応をおこなう。

地すべり災害に関して

川内 大舟地区と南下地区の住民への対応は、

総務・防災課長 避難されているときに、災害の現状や災害救助法適用での各事業の説明および見舞金、貸付金などの説明を実施。被災地に災害ボランティアの支援をお願いした。

市長 現在、13年が経過し劣化も進み、素材の飛散や、ブロックのずれによる段差が発生していることを認識している。

川内 いつ頃の予定か。

建設課長 来年度、承認をいただければ、改修に向けた作業に入るかと考えている。現段階では、はっきり答えられない。

稼げる農業・施設園芸に補助ができないか

芦塚典子 議員

答 検討していきたい



芦塚 施設園芸に対する市の農業政策は、

農業政策課長 国・県の補助金を活用して施設園芸団地を建設している。

芦塚 施設園芸に対する市独自の補助はあるか。

農業政策課長 市単独補助は350万円で内訳



▲これからのハウス農業に支援を

は新規就農者に対して資材購入に50万円、基盤整備に対して150万円を補助している。

芦塚 現在の就農者に対しては茶業関係には

県・市からの多額の補助がある。イチゴ、小ネギ、

キュウリ等施設園芸には市単独の補助はない。これからの施設園芸・稼げる農業にも産地振興支援

や優良品種導入支援、ブランド確立対策支援などの補助ができないか。

農業政策課長

稼げる

農業政策課長

市単独

補助は350万円で内訳

は新規就農者に対して資材購入に50万円、基盤整備に対して150万円を補助している。

現在の就農者に対しては茶業関係には県・市からの多額の補助がある。イチゴ、小ネギ、キュウリ等施設園芸には市単独の補助はない。これからの施設園芸・稼げる農業にも産地振興支援や優良品種導入支援、ブランド確立対策支援などの補助ができないか。

20名が利用予定である。浸水地区の水害対策は

芦塚 町分区の浸水被害は入江川の荒廃が考えられるが、県との協議は、

建設課長 要望はしている。

芦塚 県の計画は、

建設課長 計画の予定はないとの県の回答。

芦塚 浸水地区の水害対策はどうするのか。

建設課長 流域調査をしながら治水対策をする。

芦塚 いくつか検討するの

か。

建設課長 できるだけ

早めに。

芦塚 河川整備をしないと今年も浸水するかもしれない。早急に入江川の河道掘削が必要である

市長 何もしていないわけではない。

芦塚 水害被災地を救うには河川改修が第一である。また浸水地区の住宅・土地などかさ上げに

対する補助ができないか。

総務・防災課長 今は、検討していない。

子育て未来課長 4月1日から利用可能で、1

206名。

芦塚 新一年生は春休みに児童に受け入れはできるか。

教育長

206名。

芦塚 新一年生は春休みに児童に受け入れはできるか。



▲早期の改修を

川内 災害から7カ月経つが、その後、区民に説明会は開催したのか。

建設課長 県より12月に区民へ、回覧で対策工法が決定した際に、説明会をおこなうと記載されている。

総務・防災課長 区の方には、ある程度、現状が分かり次第お知らせする。

市内のタクシーについて

川内 現在コロナ禍で

タクシーの稼働率が減っている。観光地である当市において市内の経済に影響を及ぼすと考えるが、市長 タクシー事業者は、飲食店や周遊観光には必要な業種であり、しっかりと台数を増やして、利用者の利便性を高めるため、行政も支援する必要があると認識しており協議を重ねていく。



山口 1000ミリを超える記録的な豪雨災害で被害も甚大であった。生活道路の早期復旧のスケジュールは。

建設課長 年度中に9カ所の発注を見込んでいる。残りの路線も速やかに発注していきたい。下岩屋線、湯野田木場線は発注完了済み。工程的なスケジュールと事前準備中である早期着手に努める。

農業政策について

山口 ウクライナ情勢を見るにつけ自給率は喫緊の課題、市の根幹を担う農業政策は。

市長 安全保障の面からも農業振興は重要。先取りした政策に取り組んでいる。

山口 法制化へ向けた、みどりの食料システム戦略を市は農業基本政策へ

豪雨災害復旧工事はどうなっている

山口虎太郎 議員

答 市道は52カ所被災、5カ所は発注済

どう取り組むのか。

茶業振興課長 具体的な説明会等は現在あっていない。農家の利益確保が論点とあり、国の状況、流れを見る。

山口 前年度国の茶業対策で有機栽培への取り組みに反当10万円を4年間補助する事業があったが、政策に取り入れられないか。

茶業振興課長 関係団体、試験場等の話も進め、個人でもあれば支援を進める。

市長 時代の変化に対応できる産地でなければならぬ、将来の流通を考えて周知を図ってきたい。

庁舎整備構想について

山口 再度説明をおこなうということは、どのような説明をされるのか。



▲早急な復旧が望まれる

市長 地区説明会、パブリックコメントでの懸念もあり再度論点を整理し、話をする。

山口 塩田エリアゾーンの協議会を構成し、再度慎重に協議してはどうか。

総合戦略推進部長 文教・教育ゾーンのにぎわいを出すために3〜4年かけ塩田の方と一緒に協議を重ねたい。



庁舎整備について

山口卓也 議員

答 統一庁舎案は丁寧の説明を尽くす

山口 平成20年から平成22年にかけて、日本全体の人口が減少に転じ、大きな転換期を迎えた。そこで公共施設のあり

方を日本全体で議論するに至ったと理解しているが。

総合戦略推進部長 平成28年に市においても公

共施設等総合管理計画を策定した。

老朽化のたびに同じ規模で建て替えていくと40年後には150億円の財源不足が生じるという結果が出た。

そこで、庁舎全体として考える必要があり、庁舎のあり方検討委員会において検討を始めるに至った。

山口 長い目でみると行政機能の集約は必要である。

一方で市民サービスの拠点である行政窓口の維持は非常に重要だと考えるが。

総合戦略推進部長 庁舎が一庁舎体制になっても行政窓口が何もなくなくなるというものはありえないと考える。

窓口サービスが低下しないようにどういった機能が必要なのか時間をかけて検討していきたい。

災害復旧事業について

山口 通行止めの市道永尾線の迂回路となっている市道下野鳥越線（羽白越峠）の整備をどうしていくのか。

建設課長 路面の整備については現在調整をして整備に入る予定である。離合箇所の確保については、来年度に向けて承認をいただければ事業に着手していきたい。

山口 豪雨災害で被災した共同墓地に対して、他自治体の共同墓地災害復旧に係る補助制度を参考に、嬉野市として復旧支援策を講ずるべきではないか。

市長 時代に合わせた考え方で、また、お困りになられている方の声も聞きながら、近隣市町の制度も参考にしながら考えていきたい。



▲身近な市民サービスの充実を目指す

産業支援補助金のあり方は

水山洋輔 議員

答 単年度ごとに事業を考えて取り組む



金額295万円。「嬉野サポート補助金」は令和3年度、申請90件、金額2738万円。「中小企業販路開拓事業補助金」については、令和3年度が申請7件、金額100万円である。いずれの事業も、市民のための地域振興政策としての事業として進めている。

水山 補助金の用途について、機械設備の更新や建物、施設の改修などは対象経費として活用できないか。

観光商工課長 チャレンジ補助金と嬉野サポート事業は、地方創生臨時交付金のため、財産の取得に係る経費としては充当できない。中小企業販路開拓補助金については、生産性、効率性、収益性の向上を目的としており、行政としては、公共性、公益性、将来性および継続性の観点から検討したい。

水山 コロナ禍における市独自の産業支援事業の実績はどうか。

観光商工課長 「チャレンジ補助金」は令和3年度において、申請3件、

水山 市内の事業者がチャレンジできる環境づくりとして、今後も一定規模での予算措置が必要と考えるがいかがか。

市長 熱意がある方、

出産祝い金について

古川英子 議員

答 お祝いの気持ちを考えていきたい



古川 市として子どもの誕生を祝い、出産祝いを贈ることはできないか。
市長 子どもたちはま



▲誕生日おめでとう

向け重要な共有の財産
と思う。

古川 市では、0歳から18歳までの医療費助成をおこなっており、全国の中でも手厚い支援になっている。

古川 嬉野市に生まれてきてありがとうという感謝の思いを込めた意味で、出産祝い金または出産祝い品を贈れないか。

市長 子どもの誕生を地域みんなでお祝いするという気持ちを表す施策を考えていく。

コロナ対策について

古川 嬉野市の感染状況をうかがう。

市長 昨年末までの感染者数は86名だった。今年に入り感染力の強いオミクロン株により796名と急拡大した。

古川 ワクチンの接種状況はどうなっているか。

健康づくり課長 3回目接種状況は65歳以上が75・9%、18歳以上64歳以下は29・0%、

全体では49・2%となっている。

現在接種対象者の9割に接種券を月2回送付している。

古川 各医療機関でワクチン接種による業務への負担はないか。

健康づくり課長 医療機関と協議しながら協力をいただき接種をおこなっている。

古川 集団接種会場がなぜ狭い場所になったのか。

健康づくり課長 国からのワクチン接種の供給がいつになるかわからない状況のなかで、会場の予約ができず空いている場所が限られた。

古川 会場が狭くて大変な状況だったと思うが、今後同じような事態が発生しないとは限らない。

臨機応変に対応していただきたい。

健康づくり課長 今後大切な人を守り、社会を守るため、しっかり感染症対策をおこなっていききたい。

意欲のある方を応援していくことは、必要な投資だと思う。メリハリをつけて単年度ごとに継続して事業を考えていく。

防災対策について

水山 指定避難所までの移動が困難な地域について現状把握と今後の方針についてうかがう。

市長 一部地域では、徒歩での避難が困難な地域もある。避難空白地域の解消を公約としているので、市民の皆様と一致

協力して解消に努めていきたい。

道路行政について

水山 国道498号の要望事項の現状はどうか。

建設課長 歩道の確保と牛間田新道交差点の区間改良は、県と連携しながら事業を進めていく。

市長 当面の道路行政としては、最優先事項として粘り強く一日も早く着工できるように、努力していく。



▲商店街の活性化を

いて閲覧できるようにしている。

増田 情報コーナーはどうか。

答 検討を進めたい

増田朝子 議員

予算案をホームページに掲載できないか



増田 予算書の公開はどのようにされているか。
財政課長 議会から議決後の通知をもらい、情報コーナーで冊子を置

財政課長 塩田庁舎は2階財政課のテーブルに、嬉野庁舎は1階市民課南側のテーブルに置いてある。また、ホームページ掲載もしている。

増田 県内10市では、佐賀市、鳥栖市、伊万里市、鹿島市、唐津市の5市が議会開会前に案としてホームページに掲載されている。市民への開かれた市政を目指すためにも掲載してほしいが。
市長 議会のペーパーレス化も進んでいるので、議案と記者会見の資料も両方できるよう検討を進めたい。

放課後児童健全育成事業のプロポーザルについて

増田 プロポーザルの内容はどのようなものか。

子育て未来課長 仕様書及び実施要領に基づき審査会選定委員会による審査会をおこなった。



大串 嬉野市にもっと住みたい、住み続けたいと思われるような政策をどのように考えているのか。

市長 通学路の安全確保等も含めて、しっかりと安心・安全、そしてまた利便性の高いまちづくりの中で、住みやすさを実感していただきたいというふうに考えている。

大串 「子どもたちの歓声が響き合うまち」とは。

市長 子どもたちは、まちの宝である。学ぶ環境、また遊ぶ環境というのを未来の贈物として、大人社会が責任を持って充実をさせていく必要がある。

大串 子育て支援センターを日曜日に開庁してほしいと市民の声があるが。

市民福祉部長 こどもセンターは土曜日に2回、

市

政運営について重点的取り組み課題は

大串友則 議員

答 スローガンとして「守る・輝く・変わる」

子育て支援センターは土曜日に1回で、合計して土曜日3回、重ならないように開庁している。

日曜日ということになれば、また検討が必要になってくる。土曜日開庁しながら見極める。

大串 人材不足や後継者不足問題の解決策として、もっと地域おこし協力隊など受入れは考えられないか。

市長 一人一人のミッションを明確にした上で、受入れ側の方と綿密な協議の上で、今後ニーズがあれば実施をしていく。

庁舎のあり方について

大串 反対の声が強くなってきている中、説明会ではなく、話し合いはおこなわないのか。

市長 庁舎に関しては、合併当時の事情等も勘案

しながら、議論を尽くしていく。

説明の場をいろんな形で一緒に考えていこうというスタイルの中で発信をしていく。

防災対策について

大串 災害時に大規模

な停電・電波障害が起きた時の対策は。

市長 大規模停電に対応していくまちづくりも当然進めていくべきと考える。



▲力づよい政策の実施を

また、提案書やプレゼンテーションにより、法人理念や取り組みなどを総合的に判断して、評価点の高かった事業所に決定をした。

増田 審査会の委員は、嬉野市校長会代表、副市長、教育部長、行政経営部長、保護者代表が2名とあるが、この保護者代表とは。

子育て未来課長 市役所の職員です。

市民福祉部長 放課後児童クラブを実際利用している父親代表、母親代表を審査委員に選んでい

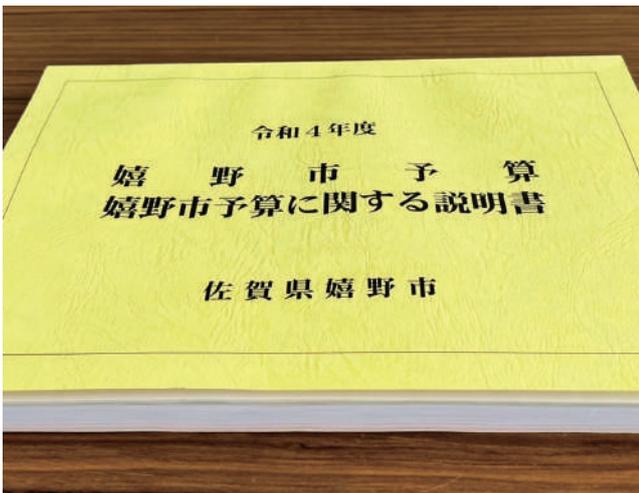
る。特に問題はないと考える。

吉田地区のがん検診会場について

増田 吉田地区の検診会場について、今後の考え方は。

健康づくり課長 吉田公民館の2階を使用していたが、転倒のリスクや駐車場の問題があり、現在は利用していない。

令和5年度は検診の状況などを踏まえながら検証していく。



▲開かれた市政を



田中 災害チャンネルの開設とは。

市長 ケーブルテレビを使って、災害情報や塩田川のライブ映像などを市民へお伝えするよう、ケーブルテレビ局と協議をおこなう。

田中 いち早く被害状況を把握し市民へ知らせることが重要である、ドローンなどを使った災害情報システムの構築なども考えるべきだ。

市長 ドローンなどで上空から状況を把握していく方策に直ちにとりかからなければならぬ。議論の余地はあるが、民間企業や建設会社などへ連携を呼び掛けていく。

民間投資について

田中 どのような場所にどのような形で、民間投資を考えているのか。

災

害状況をいち早く把握する手段は

田中政司 議員

答 ドローンなどを使った方策にとりかかる

市長 新幹線駅の開業を機に、移住・定住・企業立地を積極的に進める。宅地の開発・造成などを含め民間投資でと考えている。

田中 民間で開発をおこなえば条件が良いところに集中する。市長は学校については統廃合ではなく現体制の存続という考え方だ。市内の小学校ではここ数年においても児童数の増減にかなりの差がある、それをふまえて開発などの都市計画を考えるべきだ。

市長 今後、都市計画を設定するときは、学校の施設や更新計画なども含め、計画に反映させなければと考えている

田中 民間投資を呼び込むためには、それなりの自治体の工夫が必要であり、ルール作りをおこなうべきと考えるが。



▲状況把握に期待されるドローン空撮

市長 都市計画という全体の中でルール作りは進んでいくと考えている。

田中 これからは「うれしの茶」のブランド力

をさらに高めることが必要で、気運を高めるために全国茶品評会を嬉野で開催することもその一つと考えるが

市長 開催の提案があればチャレンジしたい。



吉田公民館にエレベーターの設置を

阿部愛子議員

答 構造上の問題で、設置は困難

阿部 公民館を高齢者が、避難所として利用しやすい施設にするためにエレベーターを設置すべきと考えるが。

市長 今年度は、椅子式昇降機を設置した。

手すりの設置・トイレの段差の改修工事の完了となっており、徐々にバリアフリー化を進める。

阿部 椅子式昇降で2階まで上がるのに時間がかかり災害時には混乱すると思われるので、スムーズに避難するためにエレベーターが必要だと考えるが。

文化・スポーツ振興課長 建物が古い、構造上の問題があり、耐久性が保たれないことで断念の判断をした。

阿部 エレベーターの外付けはできないか。
文化・スポーツ振興課長 場所の選定、構造上の問

題と設置した後の荷重も十分に検討や検証をしなければ設置は難しい。

学校給食費無償化について

阿部 学校給食費の無償化に取り組むべきと考えるが。

市長 保護者の負担軽減については進めていきたいがすぐに無償化とはいかない。

阿部 県内で無償化している市町はあるか。
学校教育課長 県内では6町が完全無償化している。

市長 うまかもん給食の材料費を農業政策課の予算の中で計上し、地場産の農産物を購入することにより、実質的に給食費の負担軽減になっている。



▲安心安全な避難所を

不法投棄について

阿部 対策、看板等の設置はできないか。
建設部長 対策として

は啓発活動を進めている。
環境下水道課長 現地を確認し看板については、地域ボランティアに働きかける。

総 合計画等にSDGsの理念を反映させるべきでは

梶原睦也 議員

答 意識しながら業務に当たる



梶原 第2次総合計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係性は。

市長 総合計画は創生総合戦略の上位に位置づ

けられる。

梶原 総合戦略のKPI（重要業績評価指標）とPDCAサイクルとは。

企画政策課長 KPIは分野別の4つの基本目標。PDCAサイクルはプラン・ドゥ・チェック・アクションのことで数値目標達成のため各課で随時努力している。

梶原 平成27年の嬉野市人口ビジョンでは2060年の将来人口がおよそ2万人だが、2022年1月段階で2万5310人である。今後においてもそれを前提として市の計画を進めるのか。

市長 その通りだ。
梶原 死亡数と出生数の差である自然減の状況は。

企画政策課長 平成31年から令和2年までの人口はマイナス281人、令和2年から令和3年までがマイナス307人。

梶原 自然減を食い止めるためには出生率を上げていかなければならない。出産年齢の基準である15歳から49歳の人口流出と転入の対策が大事だ





▲開業してからが大事

宮崎 不動山大舟地区、大草野南下地区の現況お

豪雨災害被災地域の今後の復旧計画は

市長 フル規格は一貫して主張していく。高速鉄道網の重要性を部分開業で成功に導き、県民世論、国民世論を変えていく気概を持ち、取り組んでいく。

宮崎 整備方式において今後ともフル規格推進の旗頭として県内外に示していくのか。

市長 現況と今後の計画は理解するものの、被災者への心理的ケアが欠けていると感じる。被災した地域の方々の悩み等、月に1、2回でも出向いて個別に気軽に相談できる体制が作れないか。

市長 必要だと感じている。厳しいお言葉も含めて受け止める必要がある。

宮崎 不動山大舟地区、大草野南下地区の現況お

豪雨災害被災地域の今後の復旧計画は

市長 フル規格は一貫して主張していく。高速鉄道網の重要性を部分開業で成功に導き、県民世論、国民世論を変えていく気概を持ち、取り組んでいく。

宮崎 整備方式において今後ともフル規格推進の旗頭として県内外に示していくのか。

市長 現況と今後の計画は理解するものの、被災者への心理的ケアが欠けていると感じる。被災した地域の方々の悩み等、月に1、2回でも出向いて個別に気軽に相談できる体制が作れないか。

市長 必要だと感じている。厳しいお言葉も含めて受け止める必要がある。



▲市活性化と市民福祉向上のための各種計画書

市長 女性が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを目指す。そのために女性活躍推進を市の目玉施策に据えている。

梶原 福祉施策の充実も人を呼ぶ大きな施策だ。私は、これまで子供たちの医療費の無償化に取り組んできた。本市では高校生まで医療費助成制度がある。このように市民を守るあらゆる福祉制度の充実が、定住に対し大きなウエイトを占めると考えるが。

市長 嬉野市は発足以

梶原 福祉施策の充実も人を呼ぶ大きな施策だ。私は、これまで子供たちの医療費の無償化に取り組んできた。本市では高校生まで医療費助成制度がある。このように市民を守るあらゆる福祉制度の充実が、定住に対し大きなウエイトを占めると考えるが。

市長 必要であればそのような組織体も考える。

梶原 まち・ひと・しごと創生総合戦略や総合計画にSDGsの理念を反映させるべきでは。

市長 SDGsを意識しながら業務に当たるとうな仕掛けをしていく。

梶原 SDGs推進本部のような特化した部門が必要だと考えるが。

市長 必要であればそのような組織体も考える。



新 幹線駅開業後の仕掛けは

宮崎良平 議員

答 近隣市町への営業、JRとの協議を進めていく

宮崎 JR九州は西九州新幹線を令和4年9月23日に開業すると正式に発表された。市として市民一体となった機運醸成に向けた施策が考えられているのか。

宮崎 開業日がゴール

市長 定住者への新幹線での通勤通学支援等の検討や近隣市町への営業、JRとの更なる協議を進めていきたい。ダイヤ・運賃が直前にしか決定しない事情もあるが、水面下では既に動いている。

建設課長 現在、地質調査、地形測量、対策工法を同時に進めており、工法が決まり次第、速やかに工事が発注できるよう準備を進めているとの報告を県より受けている。

市長 必要だと感じる。厳しいお言葉も含めて受け止める必要がある。

梶原 まち・ひと・しごと創生総合戦略や総合計画にSDGsの理念を反映させるべきでは。

市長 SDGsを意識しながら業務に当たるとうな仕掛けをしていく。

議会広報編集 特別委員会



▲議会だよりの製作中

議会広報編集特別委員会は、議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実を図るため、年4回の定例会後に「議会だより」を発行しています。
原稿制作から編集、校正まですべてを議員だけでおこなない広報紙を発行するのは全国でも珍しく、他自治体からも高い評価を受けています。

委員長 諸上 栄大
副委員長 山口虎太郎

委員 田中 政司
川内 聖二
諸井 義人
阿部 愛子
大串 友則

議会活性化 特別委員会

議会活性化特別委員会は、「議員が変われば議会が変わる」「議会が変われば行政も変わる」「行政が変われば嬉野市も変わる」をモットーに開かれた議会を目指し、議会報告会や議会のインターネット配信、各種会議の傍聴、他自治体から多くの視察対応等、議会改革を着実に進めています。



▲議会の活性化に向けて

委員長 増田 朝子
副委員長 山口 卓也

委員 梶原 睦也
芦塚 典子
宮崎 良平
古川 英子
水山 洋輔

人事

●副市長の選任に同意しました

副市長 早瀬宏範氏
(嬉野町)



●監査委員の選任に同意しました

監査委員 三根清和氏
(嬉野町)



●固定資産評価員の選任に同意しました

早瀬宏範氏
(嬉野町)

●教育委員会委員の選任に同意しました

宮崎憲太郎氏
(嬉野町)

●人権擁護委員の推薦に
適任と認め答申しま
した

宮園美也子氏
(嬉野町)

大曲 康智氏
(嬉野町)

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
防災について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
文化財について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
農業政策について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

6月定例会 会期日程(案)

20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	
討論・採決、閉会	休会	休会	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	休会	休会	開会

ときの人

建築甲子園ベスト8 嬉野高校塩田校舎 建築科



池田 安澄さん (武雄中) 松林 大暉君 (嬉野中) 坂口 司君 (西部中) 辻 光君 (北方中) 藤永 晃生君 (西部中)

「第12回高校生の建築甲子園」(全国建築士会連合会主催)で嬉野高校塩田校舎建築科のチームが、県予選を経て、全国34都道府県代表作品の中から佐賀県で初めてベスト8に入賞しました。
受賞作は建築科3年の坂口司君、松林大暉君、辻光君、藤永晃生君、池田安澄さんの5人が制作した作品です。

作品名は「ときノ廊下・古き建物と新しい建物の融合」と題し、塩田津を題材に、コロナ禍でも人が集えるよう、5つに分散した建物の設計作品です。

問…入賞おめでとうございます。初めに嬉野高校を志願した理由は？

坂口君…嬉野高校に建築科があったから。

松林君…小さい時から物作りに興味があり近くで建築の勉強ができるのは嬉野高校だけだった。

辻君…体験入学で3DCADを知りソフトを使って学びたいと思った。

藤永君…幼い頃から物作りが好きだった。

池田さん…建築に興味があり建築関係の仕事に就きたかった。

問…大会出場に向けて頑張ったことは？
坂口君…CADでの図面作成や家具の配置にこだわった。

松林君…遅くまで学校で作業をおこなった。

辻君…どこにどのような建物を置くか、役割を決めて互いに協力した。

藤永君…細かい部分まで凝って作った。

池田さん…一から設計するのは難しかったけど、夜遅くまで頑張った。

問…今後の進路希望や夢は？

坂口君…大阪で知識を身につけ帰って来たたら地元で貢献したい。

松林君…仕事にやりがいを持ち、自信を持って働ける人になりたい。

辻君…就職してお金を貯めて旅行をしたい。

藤永君…グラフィックデザインの専門学校に進み自分の個性を磨いていきたい。

池田さん…進学先で勉強して施工管理技士になりたい。

指導者(江口将貴教諭)から一言

「アイデアを生み出す力」は様々な場面で必要とされる。

AIに仕事を奪われるといった話もあるが、AIは「なぜ?・どうして?」といった疑問を持つ能力はないため、過去のデータがないとアイデアを出すことを苦手とする。

これからも失敗を恐れず、固定観念にとらわれない皆さんの想像力を活かして社会で活躍することを期待します。

取材を終えて…生徒の皆さんはすでに卒業されていますが、江口先生の協力で皆さんに取材することができました。

これからも江口先生の言葉を胸に秘め、頑張ってください。



コラム

四季の中で一番大好きな春。草花の成長を一番感じる時である。▼子どもたち、また、私たちにとっても旅立ちや、新しい出会いの成長の時でもあり、嬉しかったり、寂しかったり。▼新聞紙面でも人事異動の記事を目にした。たくさんの方が異動になり、退職する方もおられる。お世話になった皆様方へ、改めて感謝を申し上げます。そして、私自身、初心を忘れることなく、市の発展の一翼を担えるよう成長したい。▼令和4年9月23日に西九州新幹線が開通し、嬉野温泉駅も開業する。嬉野市が大きく成長する第一歩となってほしい。
(栄大)

議会広報編集特別委員会

委員長	諸上栄大
副委員長	山口虎太郎
委員	田中政司
川内聖一	諸井義人
阿部愛子	大串友則